

2020年3月27日

西アフリカ諸国向けのインフラ資金融資について ～アフリカにおける ESG 投資の拡大～

第一生命保険株式会社(代表取締役社長:稲垣 精二、以下「当社」)は、トーゴ政府等の西アフリカ諸国2か国に対し、ESG投資の一環として、2件合計約94億円のインフラ資金融資を行いましたので、お知らせします。今年度、当社はアフリカのインフラ整備向けの資金として、累計3件、約154億円(本件2件を含む)を拠出しています。



本件は African Trade Insurance Agency¹が元利払いの保証を提供している政府向けインフラ資金融資を証券化したストラクチャードファイナンス案件です。トーゴ等を含む西アフリカ諸国では、経済・社会の発展に向けたインフラ整備が社会的課題となっています。トーゴ政府等による今般の調達資金は、道路の敷設・改修などを中心としたインフラ整備事業等に充当されます。

当社は、本投資を通じて高い投資収益を得るとともに、トーゴ等の西アフリカ諸国の経済成長と QOL 向上に繋がることを期待しています。



¹ African Trade Insurance Agency は、アフリカ各国やアフリカ開発銀行の出資により 2001 年に設立された国際機関であり、アフリカで事業や投資を行う企業・投資家に対し、保証を提供しています。

当社は、日本全国の約1,000万名の保険契約者からお預かりした約36兆円の資金を幅広い資産で運用する「ユニバーサル・オーナー」として、「QOL向上」、「地方創生・地域活性化」、「気候変動問題の解決」を重点テーマにESG投資を推進しており、これまでも積極的にSDGs事業²への投融資を行っています。引き続き、資産運用の高度化・多様化によって資産運用収益の向上を図るとともに、責任ある機関投資家として持続可能な社会の形成に寄与すべく、ESG投資にも積極的に取り組んでいきます。

² SDGs達成に資する事業(社会インフラ整備・環境保全等)への資金供給